

平成28年第3回西原村議会定例会 一般質問通告一覧表

平成28年第3回西原村議会定例会 一般質問通告一覧表 (通告順による)

受領 番号	受領年月日	通告者	件数	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	受領時刻					
1	平成28年8月2日	西口 義充	2	① 被災者、高齢者の方々のための健康遊具の設置はできないか。	・仮設住宅のみんなの広場、並びに散歩道等において、住民の健康・体力維持のために整備が必要ではないか。 また、交流の場としての施設として活用できるのではないか。	村 長
	午前9時16分			② 一部損壊の方々のためのリフォーム助成はできないか。	・今回の熊本地震においては、全ての人が被災者である。 調査の結果、一部損壊の判定を受けた方々も少なくない。住宅再建のために多額の出費が生じている。村も大変な時期でもあるが、何らかの支援を考えていく事はできないか。	村 長

受領 番号	受領年月日	通告者	件数	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	受領時刻					
2	平成 28 年 8 月 2 日	田島 敬一	3	① 仮設住宅の環境整備 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅の部屋は狭いため、戸棚を設置したりするのに釘を打つこともできないと言われ困っているという声が多い。釘一本打てないのか。工夫する援助はないか。 ・ 小さな子たちが遊んでいる脇を大きな子どもがローラーなどで通りすぎる。安全のためにミニの仮設公園はできないか。 ・ バスの便・仮設待合付きの停留所の設置。仮設住宅の南の方にも臨時に大津木山便のバスが臨時に走っているが、臨時の停留所の設置の要望を産交にしてはどうか。 ・ 押しボタン式の横断歩道を設置するように要求してはどうか。 	村 長
	午前 11 時 13 分			② 被災地からの移転に際して、農業振興地域への引越しについて、個別的にできるだけ柔軟に農振地域から外して家を建てられやすくなるように、対応してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本では、津波に襲われた土地を県が災害緑地として買い上げ、その資金を元に住民は高台への移転・家の建築費用に当てている。 西原村において、被災が集中している布田川活断層地帯に住んでいた人々は、そこに家を再建するということになる、また地震が起きて同じ被害を受けることになる。県が災害緑地なりの位置づけで買い取ってもらい、移転がしやすいようにしてはどうか。 	村 長

				<p>③ 義援金の配布について</p>	<p>・半壊以上の被災判定の場合は、公的な支援が行なわれているが、一部損壊は 1179 件あり、家の修理などでお金がかかるにもかかわらず、お見舞金の 1 万円程度しか出ていない。</p> <p>西原村に来ている義援金をあてて独自に、一部損壊の人々にも義援金が広くいきわたるようにしてはどうか。</p>	<p>村 長</p>
--	--	--	--	---------------------	--	------------